



# 五小だより

学年からのお知らせは、スクールメールで随時お知らせします。  
各学年の学習などの活動の様子は、五小ブログでご覧ください。

2月号

令和8年1月30日

五小ブログ 国分寺市立第五小学校

042-322-0045

校長 齋藤 晃



言葉の意味や由来を知って

生活指導主任 中村 仁勇

2026年になって一ヶ月が経ちました。年明け早々寒波の到来による雪の便りを聞くと、本格的な冬の訪れを感じます。冬のレジャーや旬の食べ物を食べて楽しみたいと、出掛ける計画を立てることが多くなる季節となりました。

最近、私は長野県方面に出かけることが多くなりました。長野県坂城町にある「鉄の展示館」に行くためです。鉄や刀剣に興味があるのですが、そこでは、刀の歴史について知ることができます。また、鉄の所以については歴史的にも興味があるところですが、鍛冶や刀剣に関わることが、日ごろ私たちが使っている言葉の由来になっていることを知りました。

「切羽つまる」 「鎧迫り合い」 「鎬をけずる」 「抜き打ち」 「单刀直入」  
「懐刀」 「折り紙付き」 「目貫通り」 「地金が出る」 「トンチンカン」

言葉の意味や由来を知ると、「なるほど！」「知らなかった。」と知的好奇心がくすぐられました。中には、意味を知らずに使っていたかもしれないと思われるものもあり、恥ずかしい気持ちにもなりました。言葉っておもしろいと、言葉への興味をより深めました。

刀剣の鑑賞会にも参加しました。重要刀剣や重要美術品の数々を間近に見たり、手に触れたりすることができました。鑑賞の仕方や作法などを知らなかつたので、刀匠や学芸員などの専門家から優しく丁寧に教えていただきました。刀剣に骨董的価値や歴史的価値があるのは知られていますが、その礼儀作法に様々な意味が込められていることを学びました。礼儀や立ち居振る舞いはどの場面でも重要であり、挨拶や表情、仕草、所作など今後も気を付けないと、改めて考えました。

人とコミュニケーションをとる際は、言葉遣いや接し方に気を付ける必要があります。言葉の言いやすさや流行りなどで使ってしまうフレーズ、意味も分からずについ使ってしまう言葉があるかもしれません。やはり言葉遣いの選択や接し方が重要です。普段、友達と話したり、接したりする際、相手にどれだけ気を遣っていますか。

2月は、「ふれあい月間」です。毎学期実施する「いじめアンケート」では、子どもたちの困りごとや悩んでいることが無いかななど、些細なことでも聞き取ったり、気付けたりする機会としています。「いじめられた」ということだけでなく、友達とのやりとりなどから嫌な思いをしたり、困ってしまったりしていることがあるかもしれません。心の中のモヤモヤをそのままにせず、なるべく早く解消してほしいと考えています。

私たち教職員はいつも以上に、子どもたちの会話だけでなく、一人ひとりの何気ない表情や言葉遣い、友達同士の関わり合いなどから、子どもたちの気持ちを見取っていきます。また、気になることがあれば適切に、適宜声を掛けるなどして子どもたちを見守ります。ふれあい月間を機に、教職員一同、いつも以上に子どもたちに寄り添って、引き続き指導や支援を行っていきます。

## 特別支援学級合同学習発表会のお知らせ

市内5校（二小・四小・七小・二中・三中）の特別支援学級の児童・生徒が日頃の学習の成果を発表します。各学校、力を合わせ、工夫を凝らして練習を重ねてきました。ぜひ多くの地域の皆様に御覧頂きたく、ご案内申し上げます。

【日 時】令和8年2月7日（土）午前9時～11時45分（受付：8時40分～）

【会 場】国分寺市立第四小学校 体育館

【内 容】劇・音楽発表・ダンスなど

【問い合わせ】教育委員会学校指導課まで ☎ 042-312-8657